



主要な農作物の生育情報

令和2年度 第5号

(令和2年8月6日)

福島県農林水産部農業振興課

【作物】

1 水稲

幼穂形成始期は、農業総合センター本部（郡山市）で3～5日の遅れ、会津地域研究所（会津坂下町）、浜地域研究所（相馬市）では平年並となっています（表1）。

表1 水稲の生育ステージ（令和2年7月末現在）

調査場所	品 種	移植期 月.日	幼穂形成始期 月.日	出穂期 月.日	成熟期 [月.日]
本 部	ひとめぼれ	5.15	7.16 (+3)	[8. 3]	[9.20]
	天のつぶ	5.15	7.16 (+3)	[8. 4]	[9.22]
	コシヒカリ	5.15	7.25 (+5)	[8.11]	[10. 1]
会津地域 研 究 所	ひとめぼれ	5.20	7. 8 (0)	7.29 (-1)	[9.10]
	天のつぶ	5.20	7.10 (-1)	7.31 (-1)	[9.13]
	コシヒカリ	5.20	7.15 (0)	[8. 4]	[9.17]
浜 地 域 研 究 所	ひとめぼれ	5.11	7. 6 (0)	[7.30]	[9.14]
	天のつぶ	5.11	7. 7 (+1)	[8. 1]	[9.23]
	コシヒカリ	5.11	7.15 (+1)	[8. 7]	[9.29]

※1 調査場所は農業総合センター本部（郡山市）、浜地域研究所（相馬市）、会津地域研究所（会津坂下町）。

※2 ()内の数字は、前5カ年平均値を示す。

※3 []内は、前5カ年平均値を示す。

2 大豆

農業総合センターの調査では、5葉期は本部（郡山市）、浜地域研究所（相馬市）で平年より2～5日遅く、会津地域研究所（会津坂下町）で平年より2～3日早くなっています（表2）。転換畑を中心に梅雨期の長雨の影響から、湿害が発生し、生育量は全般に少ない状況です。

表2 大豆の生育ステージ（令和2年7月29日現在）

調査場所	品 種	播種期 月.日	出芽期 月.日	5葉期 月.日	開花期 月.日	成熟期 [月.日]
本 部	タチナガハ	5.29 (-3)	6.20 (+8)	7.12 (+5)	[7.27]	[10.23]
	あやこがね	5.29 (-3)	6.18 (+6)	7. 9 (+3)	[7.27]	[10.17]
	タチナガハ	6.18 (-1)	6.28 (+2)	7.21 (+2)	[8. 3]	[10.27]
会津地域 研 究 所	あやこがね	5.30 (-1)	6. 8 (-2)	7. 3 (-2)	7.25 (-1)	[10.15]
		6.20 (0)	6.25 (-2)	7.16 (-3)	[8. 3]	[10.21]
浜 地 域 研 究 所	タチナガハ	6.13 (+2)	6.22 (+3)	7.17 (+4)	[8. 1]	[10.24]
		6.26 (+2)	7. 2 (+2)	7.28 (+5)	[8. 8]	[10.31]

※ 調査場所、()及び[]内の数字の内容は表1に同じ。

【野菜】

1 きゅうり

5月下旬定植の露地栽培では、7月末までの日照不足の影響により側枝の発生が鈍く、果実肥大も遅いことで草勢は低下しています。梅雨明け後の天候回復により、出荷量は増加しています。

病害虫は、べと病、炭疽病、アザミウマ類が発生しています。

2 トマト

4月定植の作型では、7月末までの日照不足の影響により果実の着色が進まず、草勢は低下しています。梅雨明け後の天候回復により果実の着色が進み、出荷量は増加しています。

病害虫は、灰色かび病、葉かび病、アザミウマ類が発生しています。

3 ピーマン

5月定植の露地栽培は、平年並の6月下旬から出荷が始まりました。日照不足の影響により、草勢は低下しています。

病害虫は、炭疽病、アブラムシ類が発生しています。

4 さやいんげん

5月中下旬定植の作型は、平年並の6月下旬より出荷が始まりました。日照不足の影響により草勢は低下しています。

病害虫は、灰色かび病、ハダニ類が発生しています。

【果 樹】（8月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 も も

「あかつき」の収穫開始は7月27日で平年より6日早まりました。収穫果実の大きさは280gで平年より大きく、糖度は13.0で平年より高くなりました。長雨の影響により収穫終盤には果肉の軟化の発生がみられました。

「ゆうぞら」の果実肥大は、暦日比較では縦径が67.0mmで平年比119%、側径が67.4mmで平年比123%と平年より大きい状況です。満開後日数の体積指数による比較でも平年より大きい状況です。

2 な し

果実肥大の暦日比較では、「幸水」は縦径が58.4mmで平年比106%、横径が73.9mmで平年比108%、「豊水」は縦径が59.5mmで平年比108%、横径が67.1mmで平年比108%と平年よりやや大きい状況です。満開後日数の体積指数で比較すると、「幸水」は平年よりやや大きく、「豊水」は平年並です。

平均気温と降水量を基にしたDVRモデルによる「幸水」の収穫予測は、収穫盛期が8月27日頃で平年より4日早い見込みとなっています。

3 りんご

果実肥大の暦日比較では、「つがる」は縦径が62.7mmで平年比93%、横径が75.2mmで平年比98.7%と平年よりやや小さく、「ふじ」は縦径が60.4mmで平年比100%、横径が68.0mmで平年比102%と平年並の状況です。満開後日数の体積指数による比較では、「つがる」は平年より小さく、「ふじ」は平年並の状況です。

【花 き】

1 キク類

8月咲きでは、定植後の5月の乾燥の影響により草丈が平年よりやや短いです。また、一部の中山間地域では開花が早まっております。9月咲きでは、概ね順調に生育していますが、長引いた梅雨と日照不足の影響でやや軟弱な生育となっています。

病害虫では、白さび病が一部の品種で多発しています。また、オオタバコガやハダニの発生が散見されます。

2 リンドウ

8月盆向けの早生品種では、開花は平年並となっており、早生品種は概ね需要期での出荷となっています。9月彼岸向けの中生品種については概ね順調に生育していますが、長引いた梅雨と日照不足の影響でやや軟弱な生育となっています。

病害虫は、鱗翅目類やハダニ、褐斑病、黒斑病の発生がみられます。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、梅雨による収穫・調製の遅れにより、平坦部、山間部共に8月上旬から2番草の収穫作業が行われる見込みです。収量は平年並と予想されます。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、収穫期、収量ともに平年並が予想されます。早生種では8月中旬に収穫期を迎える見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

暑い日が続きますので、体調管理に十分留意し熱中症対策をしっかりと行い、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyouhou>